

HIO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1991. 8. 48号



賛否両論の姫路ブロック説明会(神崎文化センター)

財務・建設に質問集中

教化センターブロック説明会

阪神ブロックを皮切りに実施されていた「兵庫教区教化センター設立」プロジェクト説明会が、七月二十四日岡山ブロックをもって八ブロック十会場の日程を終了しました。

三百四十七ヶ寺、六百七十名の住職・寺族・門徒代表の参加があり、各会場では計画の名称をはじめ、場所・規模・経費・募財等について様々な面から賛否両論多くの意見が寄せられた。

この終了を受けて七月三十一日、教化センター設立委員会総務部会が開催され、意見の報告と集約を行うとともに、今後の見通し、各部会の段取りについての協議が行われました。

席上、田中法剣委員長は各委員の労をねぎらい「教区内から多くの意見をいただきましたので、これを集約し今後に向けての検討をよろしく願います」と挨拶。説明会での意見を各部会でどのように反映させていくかなどについて意見が交換されました。

説明会で寄せられた意見を整理すると、総務関係では、門徒総代表参拝研修の実施について、組単位での説明会の希望、建設につ

いての賛成意見と地域の事情による反対意見、教化センターの趣意と将来のビジョンなど教区に対する意見、その他。

広報関係では計画名称について、資料・今後のパンフレット等ご門徒に説明できる詳しいわかりやすい説明書を希望する意見が多かった。

財務関係では、納骨所懇志の見込みと寺院懇志について、懇志依頼の上での地域差についての意見・質問が多かった。

建設関係では、建設場所・現在の建物について、納骨所の是非、建物構造・駐車場の規模、その他について幅広く意見が寄せられた。

委員会では、これら多くの意見をどのように取り入れ、反映させるかについて今後の部会で検討する方向で、各部会の日程調整などについても協議されました。

各部会の日程(予定)は次の通りです。

- 建設部会 八月二十日 十時半
- 財務部会 八月二十日 一時半
- 広報部会 八月二十二日 一時半
- 総務部会 八月二十八日 十時半

総局巡回法要円成報告のつどいが津村別院で開催され、その懇談会で組長会代表の方が「今回の法要の記念法話の後で、参詣者からお念仏にかわって拍手が起ったのは如何であろうか」との意見発表の記事を目にした。◆この現象は以前より問題にされてきた。この方ばかりでなく同じ思いをされた方は他にもあったことであろう。特に生命をかけて法灯を護られた頭上人のこの法要に◆前々は御堂に座すれば自からお念仏がおこり、それが大合唱となったものである。この現象は勿論地方に於いても同様で寂しい事であり恥かしい事である◆宗祖が開頭されたみ教えが、多くの先師の伝道布教によって現在まで受け継がれてきたのであるが、ご門主が指摘された名ばかりの真宗門徒となってしまう◆歌を忘れたカナリヤではないが、お念仏を忘れた門徒。この現実を今こそしっかりと見つめ、真剣に考えなくてはならない。まず「自信教人信」これ以外にはない。(藤丸顕雄)

教区だより 8・9月

7日(木) 仏婦常任委員会 10時半	25日(日) 仏壮ブロック研修会(丹波・但馬) 城崎組照満寺
8日(木) 近同推常任委員会 和歌山	26日(月) 近同推総会・研修会 京都
11日(日)~15日(木) 別院盆参り	28日(水) 教化センター総務部会 10時半
16日(金)~19日(月) 別院・教務所職員夏期休暇	9月2日(月)~3日(火) 寺族青年野球全国大会 滋賀 守山球場
20日(火) 教化センター建設部会 10時半 教化センター財務部会 1時半	4日(水)~5日(木) 推進専従員研修会 西山別院
22日(木) 東西保育研修会 10時半 門徒推進員役員会 10時半 教化センター広報部会 1時半	7日(土) 第1土曜仏教講座「福祉の心」 中垣昌美師 1時半 門徒推進員研修会 阪神東組源正寺 8日(日) 仏壮ブロック研修会(姫路、西播) 赤穂南組永応寺

「本音が聞きたい…」

仏壮幹部研修会

梅雨明けと同時に猛暑となった七月二十一日、教区仏壮連盟の理事会・幹部研修会が、別院で開催された。

午前中の理事会では、常任理事の選出、第十七回総会、姫路・西播大会についての報告と反省、第十回全国仏教壮年大会、本年度ブロック別研修会等について協議が行われ、午後は連研中央講師、都呂須孝文師を講師にお迎えして「仏壮活動刷新に向けて」というテーマで基調講義をいただいた後、全体討議を行った。

その中では、「住職の熱意によって仏壮が生まれるということ、仏壮によって住職が生まれ変わるという関係。門徒さんから住職への方向も考えられる。それは、ご門徒に育てられた住職として言えることである。…と先生のおっしゃる通りですが、本音が聞きたい」という意見もあった。

組別仏壮活動報告書の中にも各寺住職のバックアップが必要であり、仏壮活動を積極的に進める人材の発掘にも協力がいただきた。

い▽仏壮結成寺院として名簿には上がっているが、現実には活動してもらえない寺院が多い。など、協力態勢の充実を望む声、あるいは▽仏壮創立から十数年経過して当初の熱心な人が少なくなり、一方、新規加入者も思うにまかせないような状況の単位が増えてきている。中には活動が殆どなく、役員を選ぶのにも困っているところもあるようだ。参加者の顔ぶれが固定化してしまつてマンネリ化しているとか、とにかく現状維持が精一杯といったところ。…とといったように、会員の高齢化と活発な活動のできる単位の減少傾向にどう対処するかを問う声も寄せられている。

仏壮活動刷新に向けて、即効薬はなさそうだが、組の教化団体合同の行事や連研等に参加して、法座への参加の必要性を感じている会員が多いのも事実。

そのような会員の熱意をどう盛り上げていくか。参加した理事さんの共通の悩みが浮き彫りとなった研修会であった。

HOME



◆29日~31日 少年連盟サマースクールを別院で。巨大対阪神戦、どちらのファンも甲子園を満喫したようです。

二日目は甲子園で観戦

生前のご苦勞を偲び
謹んで敬弔の意を表します。(敬称略)

神戸湊組浄徳寺住職	「無障院釋一成」	日下 一成	7月4日	59才
北摂組光明寺前坊守	「恭敬院釋尼晃誠」	浅井ヲコヨ	7月20日	88才
出石組勝林寺坊守	「三明院釋暲月」	西池 暲子	7月25日	60才

「三日間の中で一番楽しかったのは、甲子園だ。私は阪神ファン。負けると思つて、彦坂ゆう子ちゃんといっしょに、メガホンでひざをたたいて、大声だして応援していた。それがきいたせいか、阪神が勝つた。だからおもしろかった。

インドからこんには、が次におもしろかった。ナミタ・ワドワールさんは、とてもきれいな方だった。サリーという服はきれいだよと言っていたけど、本当はへんなかわつた服だ、と思つていた。あんな服をきているとあつくないのかふしぎだ。

入よくの時もあんがいおもしろかった。いつもきているおばあさんと、少ししゃべつていて楽しかった。いろいろと教えてもらった」
(四年・小寺真弥子)



総局巡回法要円成報告のつどいが津村別院で開催され、その懇談会で組長会代表の方が「今回の法要の記念法話の後で、参詣者からお念仏にかわって拍手が起ったのは如何であろうか」との意見発表の記事を目にした。◆この現象は以前より問題にされてきた。この方ばかりでなく同じ思いをされた方は他にもあったことであろう。特に生命をかけて法灯を護られた頭上人のこの法要に◆前々は御堂に座すれば自からお念仏がおこり、それが大合唱となったものである。この現象は勿論地方に於いても同様で寂しい事であり恥かしい事である◆宗祖が開頭されたみ教えが、多くの先師の伝道布教によって現在まで受け継がれてきたのであるが、ご門主が指摘された名ばかりの真宗門徒となってしまう◆歌を忘れたカナリヤではないが、お念仏を忘れた門徒。この現実を今こそしっかりと見つめ、真剣に考えなくてはならない。まず「自信教人信」これ以外にはない。(藤丸顕雄)

「願われて輝くいのち」

わかりやすく、徳永道雄師

昨年四月から、神戸別院（モダン寺）で広く一般に公開して開催されている毎月第一土曜日の『第一土曜日仏教講座』もすっかり定着し、十五回目の開催となった七月六日には、梅雨の蒸し暑さの中、約八十名の参加者が京都女子大学教授、徳永道雄師の「本願の世界」と題した講演に耳を傾けました。

今月号では、その講演要旨をご紹介します。

宇宙の願い

今日は、本願の世界という題名を出しておきました。が、本願という言葉は一般に世間では、間違っ取られていることが多いように思います。

ところが本願というこの願いは、私の願いではなしに仏様の願いである。如来様の願いである。もつと言いますと、宇宙の願いとい

いまして間違いないんです。私は本願の世界に生かされて

してもらっています、という大きな願い。それは私達が入学試験に合格するとか病気が治るとか、お金が入ってくるのか、そういうような願いを越えてもつと大きな、私人間としてこの世に生まれさせていたたいたその意味を、本当に充実させると言いますか、その意味が分かるようにしてください。そういう願いなんです。そういう願いを「本願」というわけであり

ます。このご本願というのは無量寿経というお経に説いてあるんですね。その無量寿経に、如来様の願いとして四十八の願いが説かれております。その四十八の願いのうち、今日は分かり易いものを取り上げてお伝えして、親鸞聖人が最も大事になされた本願に入っていきたいと考えております。

悉皆金色の願

分かり易いというのは、第三番目の「悉皆金色の願」

という名前のつけられた願があります。ひとつの例であります。本願の世界にあるもの、言い換えますとこの宇宙にあるものは、ことごとく皆金色に光り輝いているという、そういう願なんです。如来様はこの世界にあるものが全て金色に輝いていて欲しいという願をもっておられる。ということとは、無駄なもの一つもないんだということですね。人間のみなならず、動物も植物も、全く同じように金色に輝いている。ということですね。

ところが我々どうですか、現実には。あの人嫌な人だ。自分のものさしあてまて自分のものさしに合わない。つたらあの人嫌な人だ。逆にあの人偉い人だ。いい人だ。こうなります。いい人だ。というのはたまたま自分の物差しにびたつと合っただけであって、自分にとって都合がいいからいい人になるわけで、ところが人間は皆平等である、同じよう

に金色に輝くほど尊い存在であるということ、仏様がみてくださいているということですね。

一の子が恩師

五、六年前のある卒業生が会社に勤めまして社内結婚したんですね。二年程たちまして、待望の子供さんが生まれました。やっとな二人の子供が持てるということ。めでたき絶頂にあつたんですが、産まれてきた子供さんが病気をかかえた状態。生まれてきたわけですね。今の医学ではどうにもならない病気なんです。それでその卒業生は、喜びが一瞬にしてどん底に落ちてしまったんですね。絶望です。いろいろなお医者さん訪ね回ったけど、その病気が治らない、そんな簡単なもんじゃやない。それで絶望の余りその子と一緒に心の中しようと思つたというんです。

ところが、荷物を整理していたら、大学のときに受けた講義のノートが出てきた。それをなげなく見てたら、これが書いてあつた。「悉皆金色の願」と、そのノートにいろんな説明が書いてあつた。ゴキブリも金色に輝いていると書いてあ

つた。私いつもゴキブリも金色に輝いているということを言うんですが、そう書いてあつた。

そしたら病気をかかえたその赤ちゃんが金色に輝いていると仏様は見てくださっている。世間はそうは見ません。親の因果が子に報いとか、あれは一生どうにもならないかというふうな冷たい目で見ますけど、たつた一人の赤ちゃんを金色に輝いていると見てくださるものが、ということですね。そしてその子を抱えて心の中したいとまで思っている、絶望のどん底にある自分も金色に輝いているということですね。そういうふうに見てください。仏様が無駄じゃないというふうに見てください。何事にも替えがたいほど尊いことだと見てくださるそういうものがあつたことに気がついたというんです。

その手紙の中で一番驚いたのは、先生私はこの子によって人生の本当の意味を知らされました。彼女は人生というの山のてっぺんばかり歩いていく、頼もしいご主人と結婚して、ご主人が会社で出世して、収入も増えていく、子供もすくすく育っていく、そして

幸せな一家を夢見ていたんです。それが人生の幸せだと思つていたけどどん底に落とされた。というわけですね。ところがそのどん底に落ちたときに人生の本当の意味が分かった、と彼女は言ってますよ。その後、だからこの子は私の恩師ですと言っている。この子がいなければ私には人生というのはいくらも歩いていくもつぱらだと思つてた、しかし人生の本当の意味はこの子が生まれたことによつて知らされた。

もうこれには私は言葉もありません。実に深いことを彼女は知ることができたということですね。この宇宙が一切のものが、一人一人が、一つ一つが全部金色に輝いている、と見てくださるというそれが本願なんです。本願というのはそのように私どもを見てくださっている。人間の世界ではのけもんばかり。そうやって選んばっかりおりますけど、如来様は一切を選ばれない。ということですね。一切のものがそれぞれに尊い価値があるということを教えてください。ということでもあります。

(文責在記者)

TOPICS

- ◆7月1日～2日 社推協中央研修協議会に副支部長 光森宣明師・担当者出席◆
- 2日～3日 組相談員研修会を本山。教区相談員出席◆
- 3日 阪神東組仏婦研修会に教務所長が法話◆
- 4日 四役会を別院◆
- 3日～4日 第3ブロック布教使研修会を滋賀で。教区布教団の五名出席◆
- 4日 教化センター神戸ブロック説明会を別院で。六十一名が参加して二十二億円の予算や納骨所などについて賛否両論
- 「モダン寺を潰すのは残念だなあ」という声も◆
- 5日 社推協兵庫支部評議員総会を別院で。「尊いのを大切に」のステッカー再作製と、活用についてのチラシについても話し合われました。午後は基推委社会福祉専門委員会との合同研修会。杉本顕俊師（阪神北組光円寺）を講師に「いのちの尊厳と福祉」をテーマに講義と質疑応答◆
- 基推常任委員会・中央推進員定期総会を本山で。教区基推委副会長山崎一朗師出席◆



第一土曜日仏教講座の徳永師

- 6日 第一土曜日仏教講座。講師は徳永道雄師。テーマは「本願の世界」◆
- 7日 別院仏婦学習会と仏婦定例法座。講師は柄谷正純師（阪神東組西正寺）で別院には初めてのご縁でした◆
- 9日 11日 仏婦委員研修旅行。四十二名が参加して関東二十四輩参拝◆
- 11日 12日 近畿・中部ブロック少年連盟研修会に教区より五名参加。二日目のゲーム指導では、新しいゲームが好評でした◆
- 12日 教化センター

東播ブロック説明会を兵庫女子短大で。八十二名が参加「別院の現状を知らない人もいるので、案内してほしい」という意見も◆
- 13日 門徒推進員連絡協議会役員会を別院◆
- 14日 仏教ブロック研修を播磨中組西教寺。講師は応供乗生師（城崎組清蓮寺）今年に研修読本第一章一項を中心に講義と、問いをテーマに別院で話し合い◆
- 14日 16日 別院常例法座。講師は14日高崎正英師（神崎組浄光寺）

ビハラー兵庫発足に向けて

- 15 16日 山崎一朗師（出石組正福寺）「お念仏が現実社会の問題につながるのにはなぜでしょうか」とご門徒に問ひかけながらご法話の山崎師◆
- 16日 都市開教協議会津村別院で。教務所長、担当者出席◆
- 17日 教化センター姫路ブロック説明会を姫路市民会館と神崎文化センター。「老朽化というが、修理すれば大丈夫」という意見や姫路と神戸の地域的な違い、距離的な問題についても意見が出されました◆
- 17日 19日 教区相談員研修会を西山別院◆
- 18日 教化センター西播ブロック説明会を栗組西光寺と赤穂南組永応寺で「懇志について地域差を考慮するの」という質問や「門徒さんへの説明用に詳しいパンフレットが欲しい」という要望も。連日二会場の説明会で委員の力がたが、ご苦労さまでした◆
- 19日 教化センター但馬ブロック説明会を豊岡教堂で。八十七名が参加「但馬にセンターを」という声も◆
- 21日 仏仕理事會・幹部研修会を別院で。四十六名

が参加。講師は都呂須孝文師（大阪教区島下組光明寺）◆
- 22日 教化センター丹波ブロック説明会を氷上東組照蓮寺で。四十三名が参加「別院を知らない人も多い。当地の負担金額は。過疎・過密の地域の現状はどうするのか」という意見も◆
- 23日 ビハラー実践活動研究会会員総会を別院で。ビハラー兵庫発足に向けてと第四回ビハラー研修会について。十八名のビハラー会員と推進部会との今後の活動の方向性について協議◆
- 24日 教化センター岡山ブロック説明会を岡山南組源照寺で。二十一名が参加。納骨所の構造や納骨所懇志の見込みについての意見も◆
- 25日 近同推寺族婦人研修会を和歌山で。教区より八名参加。解放出版社、川瀬俊治師の基調講義で部落解放基本法の必要性を経験や社会認識を通して力説された。分科会テーマは①私と部落差別の出会い②教団の同朋運動とお寺の中の差別③私と教団の差別の現実を改め、真の同朋教団を確立しようの三つで翌日の

発表では「同朋運動が四十周年であるというのに、少しも教団に広がらないではないか」「同朋運動の実体と実践をもつと学習する必要がある」「住職の同朋研修をもつと実施してほしい」などの意見やお寺を問わずる坊主としての悩みなど色々な意見が発表された◆
- 25日 六粟組住職寺族同朋講座を西光寺で。講師は井上秀樹師（姫路中組西徳寺）◆
- 青僧会役員会を別院で。本年度一泊研修会と街頭伝道パンフレット作製について◆
- 27日 28日 保育連盟全国大会を本山で。教区から山手幼稚園（神戸中組光尊寺）ルンビニー愛児園（神戸湊組光明寺）真浄寺保育園（高砂組真浄寺）宝国幼稚園（姫路西組真教寺）第一仏光保育園（揖尾西組明正寺）の五ヶ園二十七人が参加。この大会はまことの真宗保育を確かめたい、考え研修する場として二年毎に開催されている。二日目は会場を比叡山に移し三グループに分かれて現地研修や根本中堂での講演など。

(4ページに続く)

社推協ステッカー作製